

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当期末において発生していると認められる額を、期末退職給与の自己都合要支給額に基づいて計上している。

(2) 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	15,000,000	0	0	15,000,000
小 計	15,000,000	0	0	15,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	9,980,649	2,999,083	3,483,464	9,496,268
小 計	9,980,649	2,999,083	3,483,464	9,496,268
合 計	24,980,649	2,999,083	3,483,464	24,496,268

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	15,000,000	(15,000,000)		
小 計	15,000,000	(15,000,000)	(—)	(—)
特定資産				
退職給付引当資産	9,496,268			(9,496,268)
小 計	9,496,268	(—)	(—)	(9,496,268)
合 計	24,496,268	(15,000,000)	(—)	(9,496,268)

4 会計方針の変更は無し。